Atsuko Kudo Mail Magazine182

2012.02.27　●Nick

お元気でいらっしゃいますか？
2 月に入って寒波が押し寄せていたドイツですが、先週から少しずつ気温が上昇し、今日（26 日）は春の到来を思わせる、素晴らしい一日でした。

一年で一番短い 2 月ですが、いろいろなことがありました。長い時間を要するお役所関係の書類手続き、立て続けに続くハンブルクの親しい友人たちの病気、事故、入院、手術・・・。嬉しい出来事は、アメリカの信仰の友との久しぶりの再会、14 年前に我が家に住んでいた、当時レイプトラウマ症候群に苦しんでいた M さんが、この 2 月に 35 歳で専門学校を卒業し、心の傷も癒されて社会復帰できるようになったこと、そして、愛する教会員の結婚式でした。

●Nick

かのニック・ブイヂチ氏も、この 2 月に、日系メキシコ人のカナエさんと結婚しました。

ご存じの方も多いと思いますが、ニックには手足がありません。お父さんは牧師ですが、彼が産まれたときは、両親もすぐに現実を受け止めることができませんでした。しかし両親

は、「神は何か特別の目的をもってこの子を与えてくださった」ことを確信するようになり、愛情を注いで彼を育てるようになりました。

ニックは、しかし、小学校に入るとイジメに遭いました。8 歳になるとこれ以上生きる希望が見いだせず、10 歳の時、バスタブの中で自殺を試みますが、自分を愛する両親の悲しみを思い、自殺を思いとどまりました。

その後、彼は、障害者の学校から普通の学校に転校。難しいことに進んで挑戦して行くようになりました。勉強はもちろんのこと、さまざまなスポーツ、絵画、音楽・・大学ではふたつの学士を取得しました。そして、今、彼は、世界中で福音を宣べ伝える働きをしています。

「ぼくは、あなたより不幸な人間がここにいるのだと思って欲しいのではありません。幸福も希望も、人と比べて得られるものではないからです」

「人生の希望とは、あなたの苦しみを、神の、
永遠かつ無限の愛と恵みに比べたときに、
初めて見いだせるものです」

「ぼくは、手足は要りません。
ぼくの状況を変える必要はありません」

「ぼくは霊の翼をもつ必要があります。
そして、僕は飛ぶことができます。
イエス様がぼくを支えてくださるからです」

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。（イザヤ 40：31）

「神をあきらめないでください。神は決してあなたをあきらめないのだから」。

私の困難を要する書類手続きも、親しい友人たちの病気やけがも、ここに宝のような尊い主のメッセージがあり、一番大切な霊の癒しと主の救いがそこにあることを覚えます。もしやそれが罪から来るものである場合には、主はそのことも示して、私たちを深い悔い改めに導いてくださるでしょう。

今週も、主に信頼しつつ、すべてを感謝しながら歩ませていただきたいと思っています。

すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

（Ｉテサロニケ 5:18）

●お祈りください

―忙しい２月でしたが、主が不思議な集中力を与えてくださり、日々賛美資料の翻訳を進めて来ることができました。あともう一息です！お祈りください。

―5 月のミャンマー訪問（孤児院訪問、コンサート）のために。ただいま準備の真っ最中です。

―同じく 5 月の被災地でのコンサート（岩手県の宮古、大船渡）のために。ミャンマー訪問と併せて、皆様の篤い祈りのお支えが必要です。覚えてお祈り下さい！

新しい週、新しい月に、
主の溢れる恵みと祝福が共にありますように！

Atsuko Kudo